

I. 広東省

1 汕頭市の広澳港で国際新航路が開通

●このほど、汕頭市達濠島の南端にある広澳港で国際新航路が正式に開通し、博多港からのリベリア船籍の貨物船が停泊した。この航行路線は、A. P. モラー・マースクによって運営され、汕頭市の広澳港、深セン市の塩田港、広州市の南沙港と、香港、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、フィリピンを結ぶ（18日付「南方日報」5面）。

2 広東省の貿易総額が前年同期比で3.4%減

●税関総署広東分署の発表によれば、今年1～2月の広東省の貿易総額は9,899.8億元で前年同期比3.4%減だった。一般貿易が5,153.5億元で52.1%を占め、加工貿易が3,261.4億元で32.9%を占めた。また、越境電子商取引は59.7億元で前年同期比46.2%増だった（19日付「南方日報」7面）。

3 広東省市部級主要指導幹部「広東・香港・マカオ大湾区発展計画要綱」学習貫徹特定項目研究討論班が開催

●広東省市部級主要指導幹部「広東・香港・マカオ大湾区（以下、大湾区）発展計画要綱」学習貫徹特定項目研究討論班が開催され、李希・党委書記が講話を行い、馬興瑞・広東省長が主宰し、李玉妹・広東省人代常務委員会主任、王榮・広東省政協主席、王偉中・深セン市書記等が出席した。李希・省党委書記は、大湾区建設の重要な職責を確実に担い、「大湾区発展計画要綱」を全面的に学習・把握し、大湾区建設の重点任务を正確に執行し、実務的・具体的に各種プロジェクトを行うことの重要性を強調した（21日付「南方日報」1面）。

II. 広州市

1 2018年広州市ではハイテク企業が約3,000社増

●広州市政府の発表によれば、2018年に広州市でハイテク企業が約3,000社増え、広州市のハイテク企業の総数は約11,000社となった。これは全国で3番目に多い都市である（21日付「広州日報」2面）。

III. 深セン市

1 石塚英樹在広州日本国総領事が深セン市幹部と会見

●21日、在広州日本国総領事館、ジェットロ広州事務所、深セン市外事弁公室が共同で日系企業深セン産業政策交流会を開催した。石塚英樹在広州日本国総領事、王立新・深セン市副市長、深セン市の関連部門責任者、200名を超える日系企業の代表者が同交流会に参加した。王立新・副市長は、深センの日系企業は、広東・香港・マカオ大湾区に発展のチャンスを実際に掴み、深センの産業政策を十分に把握し、イノベーション、人材、教育等の領域の交流や協力を深め、最先端の技術領域の研究開発や、イノベーションプロジェクトを開拓してほしいと述べた。石塚総領事は、「日本は一貫して華南地区、特に深セン市を中国での重要なパートナーとしてきた。深センの日系企業は、深センのイノベーションの発展に伴い良好な営業成績を収めてきた。自動化、スマート製造のレベルを引き上げ、更なる高付加価値製品となるよう尽力したい」と述べた（22日付「深セン特区報」4面）。

IV. 福建省

1 鳩山由紀夫東アジア共同体研究所理事長一行が于偉国・福建省党委書記と会見

●20日、鳩山由紀夫元総理・東アジア共同体研究所理事長一行が福州市で于偉国・福建省党委書記と会見した。于偉国・省党委書記は、鳩山理事長には、日本と福建省の経済・貿易協力や人的・文化交流の促進、日中関係の発展、両国国民の友情の為に更なる貢献をしてほしいと述べた。鳩山理事長は、日中の民間交流は両国の友好関係発展を促進する重要な力であり、日中両国の地方間の対話・交流の増進や両国民の往来と産業の補完的協力は有益であると述べた（21日付「福建日報」1面）。

V. 広西チワン族自治区

特になし。

VI. 海南省

1 第3期海南自由貿易試験区建設プロジェクトがに着工

●18日、第3期海南自由貿易試験区建設プロジェクトが一斉に着工し、131件の投資総額は476億元に上った。また、同時に第3期の一斉契約も行われ、成約件数は50件で投資総額は935億元に上った（19日付「海南日報」1面）。

(了)